

2020年7月20日 全7頁

Indicators Update

2020年6月貿易統計

底打ちの兆しも戻りは弱い/今後の米国向け自動車輸出動向に注目

経済調査部 エコノミスト 鈴木 雄太郎

[要約]

- 6月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲26.2%と前月からマイナス幅は縮小したものの、コンセンサス（同▲24.7%）を下回った。5月中旬以降、欧米各国は段階的に経済活動を再開しているが、これらの国向けの輸出が伸び悩み、予想を下回った。
- 輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比+2.2%と4ヶ月ぶりに増加した。地域別に見ると、米国向け（同▲5.4%）は4ヶ月連続で減少、アジア向け（同▲0.3%）はほぼ横ばいだったものの、EU向け（同+0.8%）は僅かながら増加に転じた。
- 先行きの輸出数量は、緩やかに増加するとみている。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響が表れる前の水準まで回復するには相当の時間を要するだろう。主要な最終需要地である欧米の経済活動の再開が継続するかが注目される。米国などでは感染再拡大の懸念が強まっており、既に米国の一部の州では経済活動の再制限の措置が取られている。こうした動きが各地で広がれば、輸出が減少基調に転じる可能性は十分にある。

図表1：貿易統計の概況

		2019年		2020年						6月
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
原系列 前年比 %	輸出金額	▲9.2	▲7.9	▲6.3	▲2.6	▲1.0	▲11.7	▲21.9	▲28.3	▲26.2
	コンセンサス									▲24.7
	DIRエコノミスト予想									▲24.2
	輸入金額	▲14.7	▲15.6	▲4.8	▲3.6	▲13.9	▲5.0	▲7.1	▲26.2	▲14.4
	輸出数量	▲4.4	▲5.0	▲1.9	▲1.6	▲2.4	▲11.2	▲21.3	▲27.3	▲27.1
	価格	▲5.0	▲3.1	▲4.6	▲1.0	1.4	▲0.6	▲0.7	▲1.4	1.2
	輸入数量	▲6.1	▲8.1	1.2	▲1.7	▲17.3	▲2.5	1.5	▲14.5	▲0.8
価格	▲9.2	▲8.2	▲6.0	▲1.9	4.2	▲2.6	▲8.4	▲13.6	▲13.8	
	貿易収支(億円)	112	▲884	▲1,591	▲13,151	11,066	72	▲9,312	▲8,382	▲2,688
季節 調整値 前月比 %	輸出金額	▲2.7	▲1.2	▲0.7	▲3.5	2.4	▲4.9	▲11.4	▲5.8	1.4
	数量	▲0.5	▲1.5	2.7	▲6.1	3.2	▲5.6	▲14.9	▲7.5	2.2
	価格	▲2.2	0.3	▲3.3	2.7	▲0.8	0.7	4.1	1.9	▲0.8
	輸入金額	▲1.8	0.1	▲0.4	▲3.6	▲6.6	6.3	0.1	▲11.0	▲1.8
	数量	▲2.0	▲1.1	1.4	▲0.3	▲14.0	11.9	7.9	▲10.1	▲0.0
	価格	0.2	1.3	▲1.7	▲3.3	8.5	▲5.0	▲7.2	▲1.0	▲1.8
		貿易収支(億円)	▲934	▲1,736	▲1,895	▲1,807	3,667	▲2,921	▲9,567	▲5,857
	税関長公示レート	107.77	108.76	108.95	109.30	109.50	107.96	108.56	107.17	107.78

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

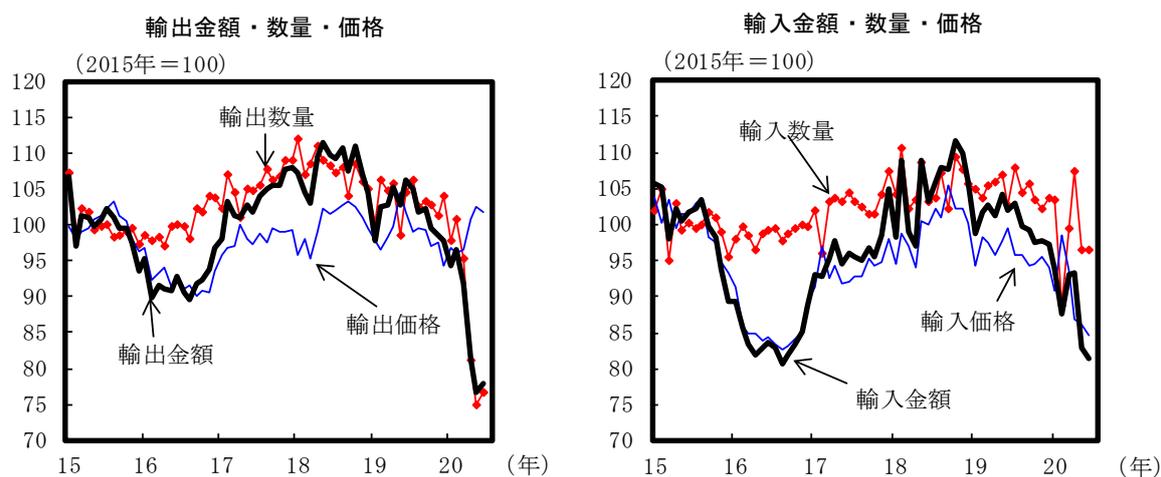
【貿易金額】 輸出金額は前月比ではプラス転換も戻りは弱い

2020年6月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲26.2%と前月（同▲28.3%）からマイナス幅が縮小したものの、コンセンサス（同▲24.7%）を下回った。5月中旬以降、欧米各国は段階的に経済活動を再開しているが、これらの国向けを中心に輸出が伸び悩んだことで予想を下回った。季節調整値では、前月比+1.4%と4ヶ月ぶりに増加した。

他方、輸入金額は前年比▲14.4%と前年比のマイナス幅は前月（同▲26.2%）から大幅に縮小した。季節調整値では前月比▲1.8%と2ヶ月連続で減少した。緊急事態宣言の全面解除に伴い、国内の消費は6月に回復が鮮明になったものの、液化石油ガスなどのエネルギー関連や鉄鋼などを中心に輸入は減少した。消費関連統計が示すほど輸入の回復は強くない。

貿易収支は▲2,688億円（季節調整値では▲4,239億円）と3ヶ月連続（同4ヶ月連続）で赤字となった。4-6月期の貿易収支は1-3月期と比べて赤字幅が拡大しており、4-6月期の実質GDPの外需はマイナス寄与となる可能性が高い。

図表2：輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格（季節調整値）



(注) 輸出数量、輸入数量、輸出価格、輸入価格の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

【輸出数量】4ヶ月ぶりに増加、欧米向けの自動車輸出は底打ちの兆し

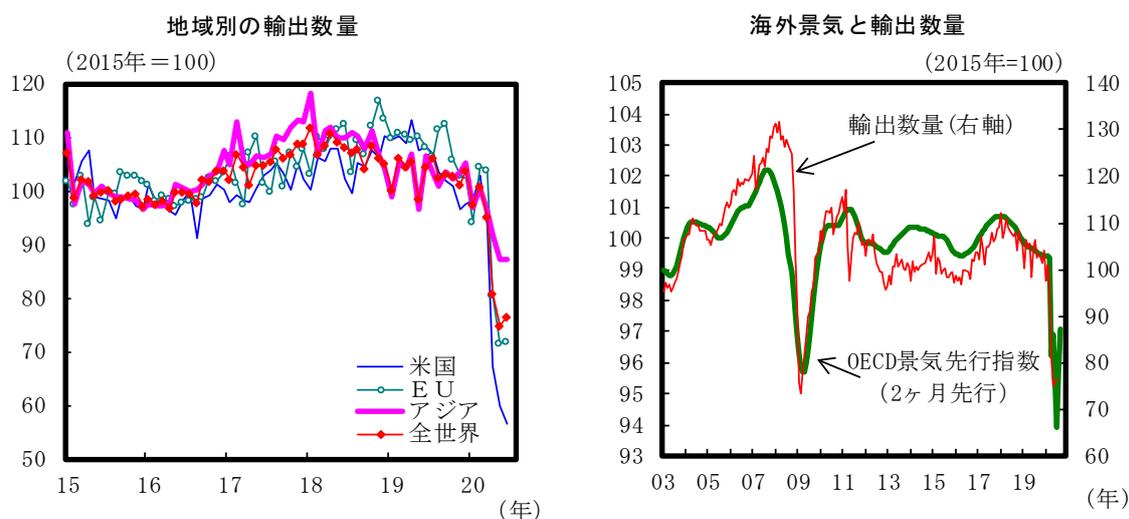
6月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比+2.2%と4ヶ月ぶりに増加した。地域別に見ると、米国向け（同▲5.4%）は4ヶ月連続で減少、アジア向け（同▲0.3%）はほぼ横ばいだったものの、EU向け（同+0.8%）は僅かながら増加に転じた¹。

地域別・品目別に6月の動きを見ると、米国向けでは鉄鋼や非鉄金属などの原料別製品が減少した。他方、前月まで大幅に減少していた自動車は反発した。しかしながら水準で見ると、ロックダウン等の措置を行う前の2月対比で6割減と依然、低水準である。

アジア向けは中国向けとみられる自動車や非鉄金属が増加したが、鉄鋼や半導体等製造装置などが全体を押し下げた。中国向け輸出は3月に大幅に減少したものの、4月、5月にV字回復し全体を下支えした。6月は増加のペースが一服したが、これまで弱さが見られていた自動車の輸出が大幅に増加した。一部都市における購入補助金支給などの政策効果が発現したとみられる²。

EU向けでは自動車が2ヶ月連続で増加し底打ちを確認できる内容ではあったものの、幅広い品目で低迷しており需要回復の遅れが見られる。

図表3：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数 (CLI) はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

¹ 世界全体向けの輸出数量が上昇しているのに対して、内訳項目が全体対比で上昇していないのは、地域別に季節調整を行ったためである。そのため全体とは必ずしも一致せず、結果には十分幅を持ってみる必要がある。

² 詳細は齋藤尚登「[中国:ウィズコロナの中国経済見通し 1月～2月をボトムに緩やかな改善が続く。牽引役は投資>消費](#)」(大和総研レポート、2020年6月23日)を参照。

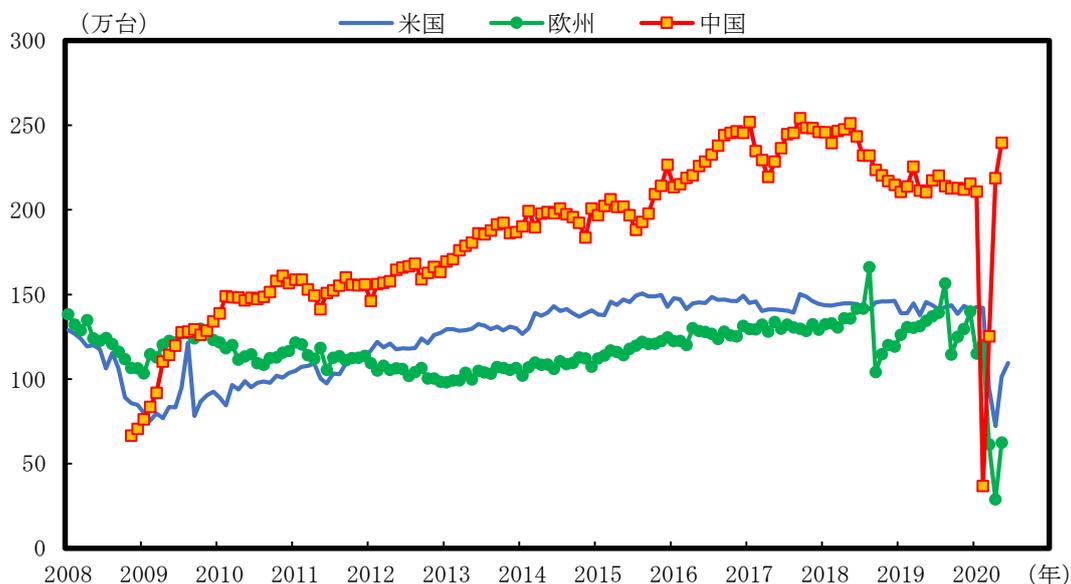
【見通し】輸出は緩やかに回復するとみられるが、元の水準に戻るには相当の時間を要しよう

先行きの輸出数量は、緩やかに増加するとみている。主要な最終需要地である欧米ではロックダウン等の措置が段階的に緩和されており、経済活動を再開する動きが見られる。こうした流れが今後も継続すれば、輸出は徐々に回復するだろう。とはいえ、この数ヶ月間で失った需要を取り戻すような回復は描きにくい。ロックダウン期間中には自動車や一般機械の輸出が大きく落ち込んだ。足元の自動車販売を見ると（**図表 4**）、欧米ともに底は打ったものの、回復は鈍い。また、工場稼働率も低下しており、資本財輸出の回復も遅れるとみている。そのため、新型コロナウイルス感染症の影響が表れる前の水準まで回復するには相当の時間を要するだろう。

他方、中国向け輸出は底堅く推移するとみている。中国の小売売上高などの回復は鈍いものの、鉱工業生産指数や固定資産投資などはV字回復している。中国向け輸出も足元では上述の自動車に加え、非鉄金属など原料別製品、原動機などの資本財が全体を押し上げているが、今後中国の消費が本格的に回復すれば、同国への最終需要財輸出や、中国と密接なサプライチェーンを形成しているアジア向け輸出の持ち直しが期待できよう。

米国などでは感染再拡大の懸念が強まっており、既に米国の一部の州では経済活動の再制限の措置が取られている。経済活動の早期再開により感染が再拡大し、ロックダウン等の措置が各地で広がれば、輸出の減少基調が継続する可能性は十分にある。

図表 4：各国の自動車販売台数の推移

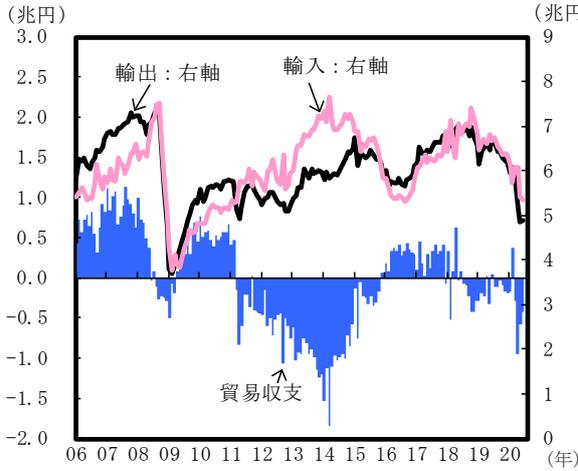


(注) 季節調整値、米国以外の季節調整は大和総研による。

(出所) AUTODATA、CAAM、ACEA、Haver Analyticsより大和総研作成

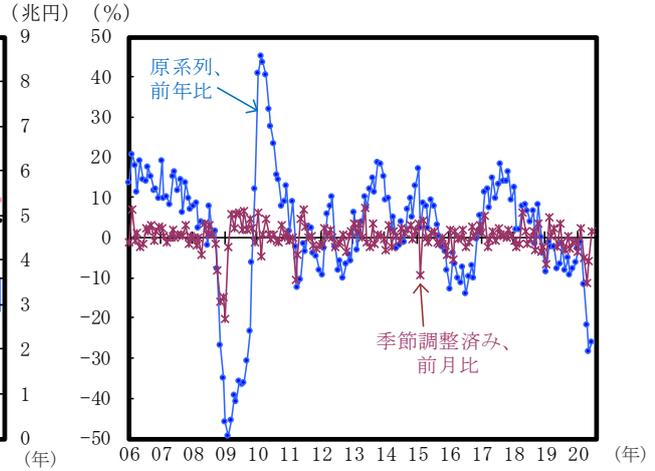
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

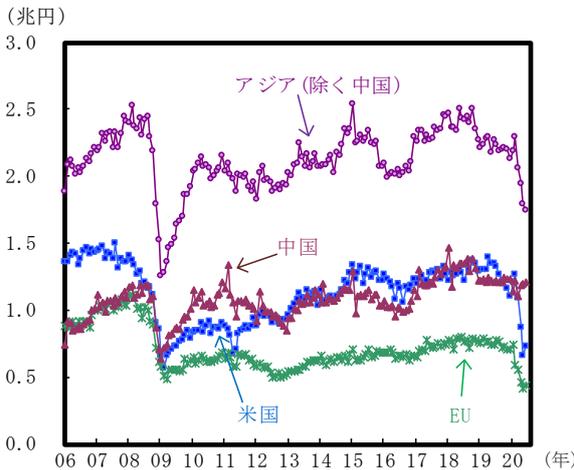


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

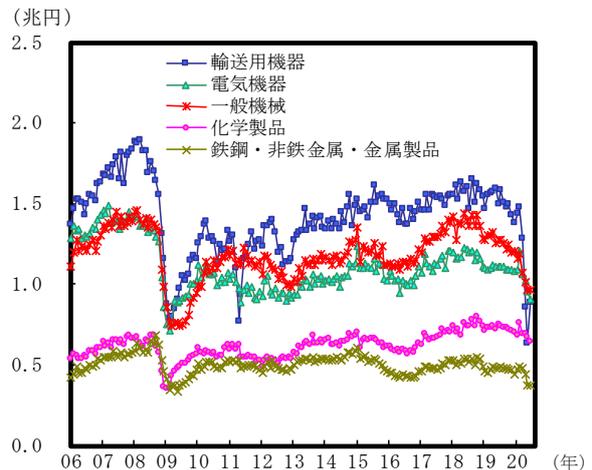


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

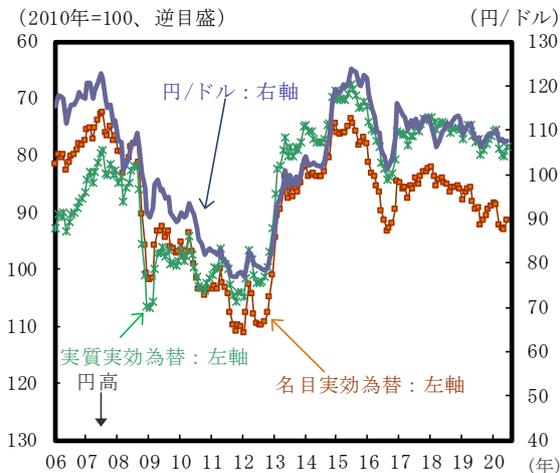


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

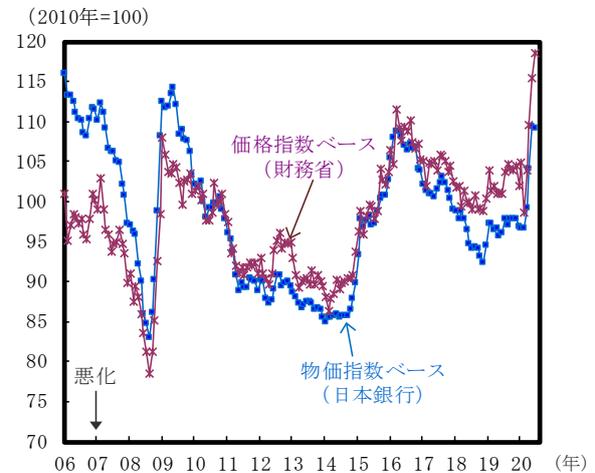


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2020/01	2020/02	2020/03	2020/04	2020/05	2020/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲2.6	▲1.0	▲11.7	▲21.9	▲28.3	▲26.2	100.0	▲26.2
食料品	▲5.5	▲0.8	▲9.5	▲9.0	6.6	▲3.3	1.3	▲0.0
原料品	10.9	7.9	▲4.9	▲17.1	▲32.6	▲20.0	1.5	▲0.3
鉱物性燃料	▲5.1	▲17.1	▲5.5	▲40.0	▲72.6	▲53.4	0.9	▲0.8
化学製品	▲4.5	3.3	▲5.2	▲6.3	▲7.0	▲14.2	13.1	▲1.6
原料別製品	▲1.9	4.1	▲2.1	▲14.5	▲23.8	▲25.5	11.3	▲2.9
鉄鋼	▲4.0	8.9	7.3	▲9.9	▲27.6	▲26.6	4.0	▲1.1
非鉄金属	14.1	22.0	5.1	▲4.2	▲5.9	3.2	2.5	0.1
金属製品	▲3.2	▲3.5	▲13.2	▲22.2	▲26.8	▲35.4	1.4	▲0.6
一般機械	▲9.5	▲8.8	▲17.9	▲23.2	▲23.2	▲24.5	20.7	▲5.0
電気機器	▲1.1	9.8	▲3.5	▲8.8	▲13.7	▲18.5	18.6	▲3.1
半導体等電子部品	1.4	23.2	6.3	4.3	▲1.5	▲7.8	6.3	▲0.4
I C	4.3	21.4	6.0	4.3	▲6.4	▲8.3	4.3	▲0.3
映像機器	▲6.7	0.3	▲24.8	▲43.0	▲51.2			
映像記録・再生機器	▲2.5	4.9	▲27.8	▲43.1	▲49.0	▲45.5	0.3	▲0.2
音響・映像機器の部分品	▲14.7	7.1	0.1	▲31.2	▲21.0	▲60.3	0.2	▲0.2
電気回路等の機器	▲1.1	5.0	▲8.7	▲8.7	▲17.9	▲22.0	2.5	▲0.5
輸送用機器	▲2.1	▲4.1	▲18.2	▲45.5	▲60.2	▲41.1	18.4	▲9.5
自動車	▲4.7	▲4.0	▲13.1	▲50.6	▲64.1	▲49.9	10.6	▲7.8
自動車の部分品	▲4.2	▲3.6	▲17.9	▲39.2	▲57.2	▲52.3	3.0	▲2.4
その他	5.8	▲2.0	▲15.0	▲12.7	▲14.4	▲22.6	14.2	▲3.1
科学光学機器	0.1	6.4	▲8.8	▲13.1	▲14.8	▲13.4	3.2	▲0.4

米国向け輸出金額 内訳								
	2020/01	2020/02	2020/03	2020/04	2020/05	2020/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲7.7	▲2.6	▲16.5	▲37.8	▲50.6	▲46.6	100.0	▲46.6
食料品	▲9.8	18.9	▲8.2	▲21.5	▲33.2	▲35.6	0.9	▲0.3
原料品	70.3	41.5	34.5	26.0	▲21.5	▲26.5	0.7	▲0.1
鉱物性燃料	▲9.8	21.6	▲44.9	▲55.0	▲70.0	▲28.3	0.7	▲0.2
化学製品	▲6.8	11.9	▲4.6	▲6.1	9.8	▲20.3	10.5	▲1.4
原料別製品	▲4.9	▲0.6	▲15.5	▲20.7	▲36.9	▲44.3	6.5	▲2.7
鉄鋼	▲34.7	▲21.4	▲31.6	▲28.5	▲22.4	▲51.8	0.9	▲0.5
非鉄金属	20.4	29.6	▲19.2	▲27.2	▲27.6	▲18.3	1.2	▲0.1
金属製品	19.7	1.1	▲2.5	▲21.9	▲45.9	▲53.8	1.4	▲0.9
一般機械	▲9.0	▲5.6	▲20.4	▲27.6	▲40.9	▲45.5	25.8	▲11.5
電気機器	▲2.6	8.6	▲2.1	▲22.1	▲42.2	▲37.8	14.8	▲4.8
半導体等電子部品	▲7.8	▲6.5	▲12.0	▲26.3	▲35.4	▲40.5	1.6	▲0.6
I C	▲3.1	▲12.0	▲13.9	▲31.0	▲48.3	▲46.0	0.7	▲0.3
映像機器	6.8	15.7	▲7.9	▲37.5	▲58.8			
映像記録・再生機器	8.5	16.9	▲6.0	▲40.2	▲57.9	▲49.8	0.5	▲0.2
音響・映像機器の部分品	▲26.5	12.1	11.2	▲35.3	▲63.2	▲90.5	0.1	▲0.7
電気回路等の機器	▲5.0	3.5	▲11.3	▲20.0	▲41.2	▲37.4	1.6	▲0.5
輸送用機器	▲14.9	▲7.9	▲21.7	▲62.7	▲76.4	▲60.4	26.6	▲21.7
自動車	▲18.5	▲9.2	▲23.7	▲65.8	▲78.9	▲63.3	19.0	▲17.6
自動車の部分品	1.4	2.9	▲17.5	▲40.9	▲73.2	▲58.3	4.0	▲3.0
その他	13.5	▲4.4	▲16.0	▲20.3	▲40.3	▲35.0	13.6	▲3.9
科学光学機器	5.9	1.3	▲9.7	▲33.1	▲27.2	▲13.8	3.5	▲0.3

EU向け輸出金額 内訳								
	2020/01	2020/02	2020/03	2020/04	2020/05	2020/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲1.8	▲23.9	▲26.5	▲39.4	▲43.8	▲41.4	100.0	▲41.4
食料品	26.1	▲16.5	▲16.4	▲39.8	▲38.8	▲42.8	0.5	▲0.2
原料品	▲16.1	▲17.2	▲16.4	▲26.3	▲67.7	▲45.0	0.9	▲0.4
鉱物性燃料	▲92.1	▲69.0	▲49.1	12.9	▲94.0	▲76.8	0.1	▲0.1
化学製品	15.3	▲0.0	▲11.9	▲6.5	▲0.7	▲16.4	13.8	▲1.6
原料別製品	▲11.9	▲16.6	▲21.6	▲31.1	▲36.4	▲39.0	6.5	▲2.4
鉄鋼	▲43.4	▲2.0	▲22.1	12.3	▲15.1	1.7	1.1	0.0
非鉄金属	21.2	▲31.7	▲7.4	▲28.9	▲23.9	▲37.8	0.8	▲0.3
金属製品	▲11.8	▲21.1	▲30.3	▲44.5	▲46.2	▲46.6	1.5	▲0.8
一般機械	▲16.1	▲27.1	▲32.1	▲38.2	▲47.7	▲43.4	22.2	▲10.0
電気機器	▲6.7	▲19.3	▲20.3	▲38.0	▲34.4	▲39.1	17.8	▲6.7
半導体等電子部品	▲5.6	▲0.4	▲18.9	▲29.4	▲30.5	▲25.9	2.5	▲0.5
I C	▲19.9	▲10.5	▲30.6	▲37.5	▲39.8	▲21.2	1.2	▲0.2
映像機器	▲18.5	▲7.6	▲29.7	▲62.7	▲68.1			
映像記録・再生機器	▲19.7	4.5	▲23.8	▲58.1	▲68.0	▲51.5	0.5	▲0.3
音響・映像機器の部分品	▲1.6	0.7	▲30.9	▲0.6	▲38.0	▲52.3	0.2	▲0.1
電気回路等の機器	▲13.4	▲23.5	▲27.4	▲31.2	▲39.8	▲41.0	1.6	▲0.7
輸送用機器	▲4.3	▲26.0	▲24.1	▲59.0	▲63.9	▲51.2	22.3	▲13.7
自動車	▲15.8	▲28.6	▲32.5	▲63.4	▲58.7	▲47.7	15.8	▲8.4
自動車の部分品	▲1.4	▲13.0	▲8.1	▲53.3	▲77.0	▲71.7	2.8	▲4.1
その他	28.7	▲35.2	▲38.9	▲35.6	▲38.5	▲40.0	16.1	▲6.3
科学光学機器	▲4.7	▲0.7	▲23.0	▲35.3	▲25.2	▲22.5	4.4	▲0.7

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2020/01	2020/02	2020/03	2020/04	2020/05	2020/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲3.2	1.7	▲9.4	▲11.3	▲12.0	▲15.3	100.0	▲15.3
食料品	▲7.8	▲5.0	▲11.6	▲2.6	18.8	8.8	1.7	0.1
原料品	8.9	4.0	▲11.3	▲20.8	▲27.9	▲17.1	2.0	▲0.4
鉱物性燃料	28.6	9.6	20.5	▲30.9	▲59.3	▲2.2	1.1	▲0.0
化学製品	▲7.8	0.1	▲6.0	▲9.2	▲12.1	▲16.3	14.9	▲2.5
原料別製品	▲3.9	4.1	▲1.8	▲12.2	▲20.2	▲22.0	13.3	▲3.2
鉄鋼	▲6.8	7.0	5.0	▲13.1	▲30.7	▲28.2	4.8	▲1.6
非鉄金属	9.9	20.1	7.5	1.6	▲3.5	3.7	3.5	0.1
金属製品	▲8.9	▲3.5	▲15.0	▲17.0	▲15.5	▲27.2	1.5	▲0.5
一般機械	▲6.3	▲8.9	▲17.2	▲18.6	▲7.2	▲10.4	20.6	▲2.0
電気機器	▲0.0	14.8	▲1.5	1.4	▲1.5	▲9.6	22.5	▲2.0
半導体等電子部品	2.2	26.9	9.0	8.3	2.0	▲4.6	9.3	▲0.4
I C	5.3	24.3	8.3	7.2	▲3.8	▲6.2	6.6	▲0.4
映像機器	▲13.3	▲14.3	▲42.9	▲40.0	▲33.2			
映像記録・再生機器	▲1.3	▲5.2	▲43.8	▲35.7	▲26.6	▲40.4	0.2	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲9.8	8.6	1.5	▲32.3	▲7.6	▲40.0	0.3	▲0.2
電気回路等の機器	1.4	8.5	▲6.2	▲3.8	▲9.6	▲15.7	3.3	▲0.5
輸送用機器	▲3.6	2.3	▲21.2	▲32.1	▲38.3	▲28.1	8.6	▲2.9
自動車	7.0	7.8	4.1	▲30.2	▲42.7	▲19.2	4.8	▲1.0
自動車の部分品	▲12.6	▲6.8	▲30.7	▲28.8	▲35.5	▲43.1	2.5	▲1.6
その他	▲3.5	▲1.6	▲13.3	▲4.6	▲2.8	▲16.0	15.4	▲2.5
科学光学機器	▲0.4	8.5	▲6.0	▲2.1	▲10.1	▲10.6	3.5	▲0.4

中国向け輸出金額 内訳								
	2020/01	2020/02	2020/03	2020/04	2020/05	2020/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲6.4	▲0.4	▲8.7	▲4.0	▲1.9	▲0.2	100.0	▲0.2
食料品	0.4	▲17.0	▲1.2	18.9	41.0	17.7	1.0	0.1
原料品	▲3.2	▲24.4	▲36.9	▲39.8	▲44.0	▲36.2	1.3	▲0.7
鉱物性燃料	▲30.5	▲34.0	▲32.8	▲24.4	▲30.4	72.0	1.0	0.4
化学製品	▲8.9	▲1.6	▲5.9	▲7.5	▲2.3	▲0.6	16.1	▲0.1
原料別製品	▲8.4	▲1.8	▲6.1	▲5.6	2.2	15.6	12.6	1.7
鉄鋼	▲0.9	3.6	2.0	▲9.2	▲12.5	16.4	3.7	0.5
非鉄金属	▲9.7	▲1.9	11.8	13.1	41.4	71.8	4.0	1.7
金属製品	▲15.8	▲8.1	▲18.6	▲12.6	1.1	▲7.4	1.6	▲0.1
一般機械	▲3.5	▲13.3	▲14.6	▲11.6	▲3.6	▲3.3	23.3	▲0.8
電気機器	▲5.6	17.1	▲1.5	10.3	8.5	▲0.8	20.7	▲0.2
半導体等電子部品	▲8.2	31.6	14.5	29.4	5.6	▲0.3	6.8	▲0.0
I C	▲10.0	26.5	17.4	40.2	4.1	▲1.1	4.8	▲0.1
映像機器	7.2	▲14.1	▲46.4	▲33.1	▲16.1			
映像記録・再生機器	39.9	8.4	▲48.8	▲21.6	▲1.2	▲13.1	0.3	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲23.9	11.4	4.2	▲21.2	19.2	▲37.0	0.4	▲0.2
電気回路等の機器	1.2	10.6	▲12.4	0.8	3.1	▲0.0	3.5	▲0.0
輸送用機器	5.8	12.3	▲9.8	▲13.7	▲16.4	7.1	11.7	0.8
自動車	32.0	28.5	19.2	▲10.0	▲20.8	18.8	7.1	1.1
自動車の部分品	▲17.8	▲4.4	▲37.6	▲18.5	▲11.2	▲7.1	4.4	▲0.3
その他	▲14.9	2.1	▲6.8	7.5	0.5	▲10.8	12.2	▲1.5
科学光学機器	▲2.6	6.0	▲3.1	3.9	▲8.8	▲17.4	4.2	▲0.9

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成